

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年3月5日

計画の名称	29軽米町民の安全・安心で快適な生活環境を支える道づくり (防災・安全)													
計画の期間	平成27年度 ~ 平成29年度 (3年間)	交付対象	軽米町											
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通学路の整備を行うことで、児童・生徒のみならず町民の利便性の確保と安全性の向上を図る。</li> <li>・ 消雪設備、除雪機械の整備を行うことで、冬期間の交通確保と安全性の向上を図る。</li> </ul>													
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集落等から学校等の公共施設へ向かう幹線道路までの時間短縮率</li> <li>・ 通学路の歩道整備率</li> <li>・ 消雪設備の整備率</li> <li>・ 除雪機械の整備率</li> </ul>													
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値		備考								
			当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H29末)									
・ 整備による時間短縮効果であり、整備前及び整備後の現地走行調査により、以下の式で算出する。 100- (Σ整備後走行時間 / Σ現況走行時間) × 100 (%)			0.0%	16.6%	16.6%									
・ 通学路における歩道整備率であり、以下の式で算出する。 歩道整備済延長 / 要整備延長 × 100 (%)			0.0%	17.3%	34.7%									
・ 消雪設備の整備率であり、以下の式で算出する。 消雪設備の整備済箇所 / 要整備箇所 × 100 (%)			0.0%	100.0%	100.0%									
・ 除雪機械の整備率であり、以下の式で算出する。 除雪機械更新済台数 / 要更新台数 × 100 (%)			0.0%	100.0%	100.0%									
上段：計画 下段：実施														
全体事業費	合計 (A + B + C)	214百万円 155百万円	A	214百万円 155百万円	B	0百万円 0百万円	C	0百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	0.0% 0.0%				
<b>事後評価</b>														
○事後評価の実施体制、実施時期														
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期									
軽米町地域整備課において、目標の達成状況やその要因等を確認、取りまとめを行い事後評価を実施					平成31年2月									
					公表の方法									
						軽米町ホームページにて公表								
1. 交付対象事業の進捗状況														
交付対象事業														
A 基幹事業 (道路事業)										上段：計画 下段：実施				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29			
29-A-1	道路	一般	軽米町	直接	-	(2) 町道軽米高家線	道路改良 L=0.820km	軽米町					72	
							道路改良 L=0.760km					48		
29-A-2	道路	一般	軽米町	直接	-	(他) 町道下小路保育所線ほか	歩道整備 L=0.340km	軽米町					93	
							道路改良 L=0.276km					61		
29-A-3	道路	雪寒	軽米町	直接	-	(他) 町道蓮台野勘丁線ほか	定置式凍結防止剤散布装置 N=3.0箇所	軽米町					21	
							定置式凍結防止剤散布装置 N=2.0箇所					18		
29-A-4	道路	雪寒	軽米町	直接	-	(1) 町道板橋米田岡堀線ほか49路線	除雪機械 トラック N=1.0台	軽米町					28	
							除雪機械 トラック N=1.0台					28		
合計											214			
											155			
B 関連社会資本整備事業										上段：計画 下段：実施				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29			
合計														

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業										上段：計画	下段：実施				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H27	H28	H29				
												合計			
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			・ 現道拡幅により、道路環境が改善され地域住民の安全性、利便性の向上及び国体会場までのアクセスが向上した。										
II 定量的指標の達成状況	指標① 100-(Σ整備後走行時間 /Σ現況走行時間)× 100(%)	最終目標値	16.6%	目標値と実績値 に差が出た要因	ほぼ計画のとおり達成した								
		最終実績値	15.0%										
	指標② 歩道整備済延長/要整備 延長×100(%)	最終目標値	34.7%	目標値と実績値 に差が出た要因	財政的事情による								
		最終実績値	29.9%										
	指標③ 消雪設備の整備済箇所 /要整備箇所×100(%)	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	財政的事情による								
		最終実績値	66.7%										
	指標④ 除雪機械更新済台数/ 要更新台数×100(%)	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画のとおり達成した								
		最終実績値	100.0%										
	III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)												
	3. 特記事項（今後の方針等）												
	・ 残事業については、社会資本総合整備事業により継続して整備を進め、早期完成できるよう努めてまいります。												

(参考様式3) (参考図面) 社会資本総合整備

